



# 平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フィックスターズ  
コード番号 3687 URL <http://www.fixstars.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子

TEL 03-6420-0751

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	1,435	—	267	—	261	—	161	—
25年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 161百万円 (—%) 25年9月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	143.20	—
25年9月期第2四半期	—	—

(注) 1. 平成25年9月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権は存在するものの、当社株式は平成26年9月期第2四半期においては、非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	1,203	812	67.5
25年9月期	1,060	684	64.6

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 812百万円 25年9月期 684百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	—	—	30.00	30.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,794	61.9	408	61.2	388	50.7	237	40.0	202.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成26年9月期(予想)の1株当たり当期純利益は公募株式数(100,000株)を含めた期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大18,600株)は考慮しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	1,128,000 株	25年9月期	1,128,000 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	— 株	25年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	1,128,000 株	25年9月期2Q	— 株

(注)平成25年9月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため「期中平均株式数」を記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。なお、当社は、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、内需の堅調により、回復基調を維持しました。雇用環境や、円安、株高など市場環境にも明るい動きがあるなか、企業収益の改善や設備投資の持ち直しの動きが見られ、海外景気の不透明感があるものの、総じてみれば持ち直しに転じました。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、お客様の高速処理のパートナー企業として、従来からのマルチコア向けソフトウェアの開発サービスに加えてストレージ関連のソフトウェア開発サービスの2つを当社の事業の柱として、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を展開しております。

主力のソフトウェア・サービス事業においては、医療・検査機器向けの組込みソフトウェア開発の分野で引き続き営業を伸ばしているほか、車載分野の画像処理等のソフトウェア開発プロジェクトも拡大しつつあります。金融分野においては、リスク評価などの重要性の高まりを背景に継続的な受注をしております。ストレージ分野においては、半導体メーカーからの安定的かつ継続的なソフトウェア開発を受注しております。また自社商品である「M<sup>3</sup>（エム・キューブ）ソリューション」の開発及び営業にも注力しております。

当社が開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業においては、画像処理プロセッサ搭載の演算ボード等の量産納入が引き続き堅調で売上を増やしております。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のおお客様の米国業務の一翼を担う一方、グローバルな事業展開のための市場調査を展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,435,695千円、営業利益267,565千円、経常利益261,062千円、四半期純利益161,532千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

#### ①ソフトウェア・サービス

ヘルスケア及び産業機器分野では、医療機器や検査装置向け及び車載機器向けのアプリケーション開発や新規ハードウェア環境への移植などを中心に提供しております。金融分野では、大手銀行や証券会社のリスク管理等の高速処理のためのソリューションを中心に安定的かつ継続的にサービス提供しております。ストレージ分野においては、半導体メーカー向けのメモリコントロールのためのファームウェア開発を中心に安定的かつ継続的にサービス提供しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、堅調に推移し、売上高925,368千円、セグメント利益（営業利益）224,564千円となりました。

#### ②ハードウェア基盤

画像処理プロセッサ搭載の演算ボード等の納入が引き続き堅調で売上を増やし、その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高510,327千円、セグメント利益（営業利益）44,164千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

##### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、売掛金が199,258千円増加し、現金及び預金が68,187千円減少したこと等により、1,203,277千円となりました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ、買掛金が50,905千円増加し、長期借入金が61,320千円、1年内返済予定の長期借入金が23,880千円減少したこと等により、390,580千円となりました。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ、配当金の支払い33,840千円があったものの、四半期純利益を161,532千円計上したこと等により、812,697千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ68,187千円減少し、386,886千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は77,722千円となりました。これは主に、売上債権の増加（199,126千円）及び法人税等の支払（63,204千円）があった一方で、税金等調整前四半期純利益（261,062千円）、仕入債務の増加（50,904千円）があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3,758千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（3,758千円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は143,606千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出（85,200千円）、社債の償還による支出（20,000千円）、配当金の支払額（33,840千円）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の業績予想につきましては、平成26年4月23日付の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	455,073	386,886
売掛金	461,195	660,453
商品	685	10,077
仕掛品	9,009	6,703
未収入金	3	210
繰延税金資産	28,491	29,186
前払費用	11,319	19,415
その他	—	1,329
流動資産合計	965,778	1,114,262
固定資産		
有形固定資産	20,595	17,768
無形固定資産		
その他	3,220	2,588
無形固定資産合計	3,220	2,588
投資その他の資産		
繰延税金資産	479	1,126
敷金及び保証金	67,812	67,234
その他	2,675	297
投資その他の資産合計	70,967	68,658
固定資産合計	94,783	89,015
資産合計	1,060,562	1,203,277
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,500	54,406
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	23,880	—
リース債務	3,184	618
未払法人税等	66,405	104,428
賞与引当金	41,977	38,199
役員賞与引当金	7,200	21,700
その他	68,178	91,228
流動負債合計	254,325	350,580
固定負債		
社債	60,000	40,000
長期借入金	61,320	—
固定負債合計	121,320	40,000
負債合計	375,645	390,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,750	262,750
資本剰余金	168,750	168,750
利益剰余金	257,198	384,890
株主資本合計	688,698	816,390
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,781	△3,693
その他の包括利益累計額合計	△3,781	△3,693
純資産合計	684,916	812,697
負債純資産合計	1,060,562	1,203,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	1,435,695
売上原価	895,469
売上総利益	540,226
販売費及び一般管理費	272,661
営業利益	267,565
営業外収益	
受取利息	34
為替差益	1,920
保険解約返戻金	870
その他	12
営業外収益合計	2,837
営業外費用	
支払利息	1,852
株式交付費	4,234
株式公開費用	2,000
支払保証料	559
その他	694
営業外費用合計	9,340
経常利益	261,062
税金等調整前四半期純利益	261,062
法人税、住民税及び事業税	100,871
法人税等調整額	△1,342
法人税等合計	99,529
少数株主損益調整前四半期純利益	161,532
四半期純利益	161,532

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	161,532
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	87
その他の包括利益合計	87
四半期包括利益	161,620
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	161,620

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 平成25年10月1日  
 至 平成26年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	261,062
減価償却費	7,249
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,778
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	14,500
受取利息及び受取配当金	△34
支払利息	1,852
為替差損益(△は益)	△1,570
株式交付費	4,234
株式公開費用	2,000
売上債権の増減額(△は増加)	△199,126
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,085
仕入債務の増減額(△は減少)	50,904
その他	12,501
小計	142,709
利息及び配当金の受取額	34
利息の支払額	△1,816
法人税等の支払額	△63,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,758
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,758
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△85,200
社債の償還による支出	△20,000
株式公開費用の支出	△2,000
リース債務の返済による支出	△2,566
配当金の支払額	△33,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,454
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△68,187
現金及び現金同等物の期首残高	455,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	386,886

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	計		
売上高					
外部顧客への売上高	925,368	510,327	1,435,695	—	1,435,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,446	—	22,446	△22,446	—
計	947,815	510,327	1,458,142	△22,446	1,435,695
セグメント利益	224,564	44,164	268,728	△1,163	267,565

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

## (公募による新株の発行)

当社は、平成26年4月23日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。当社は株式上場にあたり、平成26年3月19日及び平成26年4月2日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議しており、平成26年4月22日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は421,450千円、発行済株式総数は1,228,000株となっております。

(1) 募集方法	一般募集（ブックビルディング方式による募集）
(2) 発行する株式数	普通株式 100,000株
(3) 発行価格	1株につき 3,450円
(4) 引受価額	1株につき 3,174円
(5) 資本組入額	1株につき 1,587円
(6) 引受価額の総額	317,400千円
(7) 資本組入額の総額	158,700千円
(8) 払込期日	平成26年4月22日
(9) 資金の使途	主に、研究開発投資、大船事業所の整備資金、基幹業務システムの整備資金及び採用教育費に充当する予定であります。

## (追加情報)

## (第三者割当による新株の発行)

当社は、平成26年3月19日及び平成26年4月2日開催の取締役会において、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し（貸株人から借入れる当社普通株式18,600株の売出し）に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議いたしました。

(1) 発行する株式数	普通株式 18,600株
(2) 割当価格	1株につき 3,174円
(3) 資本組入額	1株につき 1,587円
(4) 割当価格の総額	59,036千円（上限）
(5) 増加する資本金の額	29,518千円（上限）
(6) 払込期日	平成26年5月20日
(7) 割当先	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
(8) 資金の使途	主に、研究開発投資、大船事業所の整備資金、基幹業務システムの整備資金及び採用教育費に充当する予定であります。
(9) その他	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は、貸株人からの借入株式の返還を目的として、上場日から平成26年5月13日までの間、東京証券取引所においてオーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数（18,600株）を上限とするシンジケートカバー取引を行う場合があります。三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は、上限株数からシンジケートカバー取引により買付けた株式数を控除した株式数についてのみ本第三者割当増資の割当に応じる予定ですので、その場合には本第三者割当増資における発行数の全部または一部につき申込みが行われず、その結果、失権により本第三者割当増資における最終的な発行数が減少する、又は発行そのものが全く行われない場合があります。